第２２回「もみじ祭」終了

大高定時便

大村高校
定時制

十月二十七日（金）、「新もみじ祭爆誕！～夜の大高へ　it's show time～」をテーマに掲げ令和五年度　第二十二回もみじ祭が行われました。

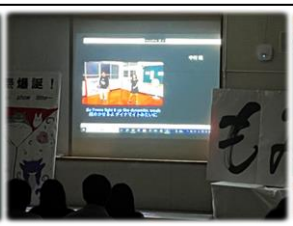
今年は、体育館の工事の関係で、規模を縮小し文化祭のみの開催となりました。また、新型コロナウイルス感染症が第五類に移行したことに伴い、入場者に制限を設けずに開催しました。場所を視聴覚教室に移してのオープニングでは、もみじ祭実行副委員長、大平永さん（四年生）の開会宣言の後、全日制の吹奏楽部とコーラス部が特別参加で登場し、開会行事に花を添えました。中でも定時制二年生の中村勇樹さんも加わり、『僕のこと』を手話も交えながら、すがすがしい歌声で披露し、会場に大きな感動を与えました。

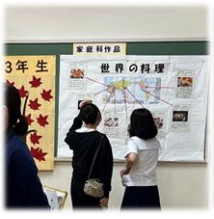
続いて、三年生作成の「Dynamite」が動画上映され、一生懸命に踊る姿が印象的でした。後半は、東館の定時制校舎に場所を移動し、展示会場の見学を行いました。

今年は、個人の作品制作にも挑戦し、各教室で披露されました。趣向を凝らした作品もあり、大いに会場を彩りました。

一年生は、「ちぎり絵もみじ」を全員で作成し、書道の授業での成果も発表しました。二年生は、「楽しめ文化祭【射的など】」に取り組み、来場者が真剣に射的やストラックアウトに挑戦していました。また、総合探究での取り組みや家庭科での作品の展示も行いました。三年生は動画に加え、文化祭ポスターと家庭科での作品を展示しました。四年生は、「パネル＆ハロウィン」の内容で、オープニング会場を彩り、展示会場では幻想的な雰囲気を表現していました。最後は、実行委員長の上妻優也さん（四年生）が閉会を宣言して今年のもみじ祭は幕を閉じました。

どの学年も短い期間の中でとてもいい取り組みでした。新しい形の文化祭が大盛況に終わり、秋の夜に大高定時制らしい、柔らかな空気に包まれ、素敵な時間を過ごすことができました。





進路状況

今年も希望者全員の進路が決まりました。進学希望者二名と就職希望者七名全員が合格および内定を頂きました。（十二月一日現在）全員が最後までブレることなく、頑張った成果がしっかりと出ました。それぞれの夢実現のために頑張って欲しいと思います。

在校生の皆さんも、自分の進路目標を早く決め、勉強とアルバイトの両立を目指して、頑張って欲しいと思います。

進学関係　２名合格

長崎県高等技術専門校
九州文化学園調理師専門学校

就職関係　７名内定

事業所	勤務地
王将フードサービス	大村市
江藤工業	大村市
ワールドインテック	諫早市
AOS（警備）	神戸市
福砂屋東京支店	東京都
福砂屋東京支店	東京都
嵯峨野病院	京都市

生徒会役員選挙

十一月十四日（火）に、生徒会役員改選が行われました。会長候補に三年中村颯さん、副会長候補に三年牛嶋琉斗さんと二年生の中村勇樹さんが立候補し、立会演説会を行いました。会長候補の中村さんは「みんなが来たくなるような学校になるよう、新しいことにもチャレンジしていきたい」と抱負を述べました。立候補が三名だけでしたので、信任投票となりました。大村市選挙管理委員会から記載台と投票箱をお借りして、立会人をつけ、実際の選挙に近い形で投票を行いました。

開票の結果、三名とも信任され、当選となりました。投票率は九十三・八％で、前年より十六・五％増となりました。任期は令和六年一月一日から令和六年十二月三十一日です。

生徒会を中心に、今後の生徒会活動や学校行事等が益々盛り上がることを期待します。

第六十一回中地区高等学校定時制体育大会終える

十一月十八日（土）に第六十一回中地区定時制高等学校体育大会が、諫早高校体育館で行われました。参加人数の減少に伴い、今年度、実施された競技はバドミントン、交流戦として将棋・オセロの二種目となりました。

開会式では、世話校を代表して島原高校定時制の田中教頭が「同じ定時制で学ぶ仲間が一堂に集まり、交流を深めることに大きな意義がある。そして六十一年も続いていることに重みを感じる。こうして大会ができることに感謝し、お互い相手を尊重する意味で、笑顔であいさつをして欲しい」と激励されました。選手宣誓は島原定時の前田さん、諫早定時の出水さん、大村定時の牧野さんの三名が行い「日頃の練習の成果を発揮し、最後まで競技することを誓います」と力強く宣誓しました。

今回の競技はすべて個人戦で、白熱した試合や素晴らしいプレーには、学校に関係なく惜しみない拍手と賛辞が送られました。交流戦では、オセロの勝ち抜き戦を行いました。ゲームが終わった後は、みんなでトランプをするなど、ほのぼのとした雰囲気が会場に溢れ、三校の友情が育まれた有意義な一日となりました。

試合結果

●バドミントン(男)
優勝
樋渡　魁斗
（大村定）

●オセロ
優勝
福田かえで
（大村定）

お茶の入れ方教室

十一月二十二日（水）の一校時、二、三年生の家庭総合の時間に「お茶の入れ方教室」を実施しました。

長崎県の農林部から岡部様、彼杵町の生産者、尾上様をお招きして、最初にお茶の歴史について学びました。

その後、冷たい水に氷を入れ、冷水を使ってお茶を準備しました。冷茶が出来上がるのを待つ間に、お湯を使ってお茶を入れました。沸騰したお湯を七十度くらいまで冷ましてから、急須に「長崎玉緑茶」の茶葉を入れ、お湯を注いだら一分ほど待ちます。湯呑に注いでみるとふくよかな香りが立ち、とてもおいしいお茶が出来上がりました。熱いお茶を味わった後、冷水で入れたお茶が出来上がっていて、そちらを飲んでみると甘い香りに包まれ、爽やかな味を楽しむことができました。

日ごろ、ペットボトルのお茶を飲むことが多く、急須でお茶を入れたことがない生徒もちらほら…。

お茶の成分のカテキンなどには、抗菌作用の他、インフルエンザの予防作用もあるそうです。お茶をたくさん飲んでウイルスに負けない体を作りましょう。

ボートレース大村見学

十一月二十九日（水）の三、四校時、四年生の十一名は「ふるさとの企業を知る」ことを目的として、ボートレース大村を訪問し、施設の見学と事業内容の説明を聞いてきました。

学校から歩いて現地に到着後、大村市ボートレース企業局、企画課長　宮本大輔様に誘導していただき、施設内に入りました。はじめに、ボートレース大村の取り組みとして、歴史、収益の状況、施策や取り組み、事業収益金の活用など、詳しく説明を受けました。

会議室を出て、新しく生まれ変わったボートレース大村内の施設を見学させていただきました。館内はとてもきれいに整備され、清潔でとても明るい雰囲気が保たれていました。また、一般市民に開放された「COMMUNITY PARK グルーン」は大人から小さな子供までが過ごせる公園となっています。スケートボードパークやボルダリングセンターが設置され多くの人が利用していました。

金融リテラシー教室

十一月二十四日（金）、九州労働金庫の田中唯裕様をお迎えして、金融リテラシー教室を実施しました。「県民一人一人が経済的に自立し、〝より良い暮らし〟ができること」を目指し、県内の金融機関が集結して金融経済教育（出前授業）を行うものです。

丁寧に作られた資料とパワーポイントをもとに、お金の役割やライフプランニングについて説明を受けました。前半部分では、収入と支出のバランスの大切さや、お金の持ち方（貯める・増やす）と資産形成の必要性に関して説明をしてもらいました。後半では、資産形成のリスクや、お金を借りる際の注意点、金融トラブルなどについて教えてもらいました。大人の私たちも大変勉強になる内容でした。

つぶやき

先日、腰を痛め二週間ほど日課のサイクリングをお休みしました。汗だくになる毎日でしたが、夏が終わって秋の気配を感じていたあの頃とは一変、完全に冬になっているではありませんか。かじかむ手に自然のスピード感を感じつつ、ふと学校に目を向けると四年間地道に頑張った生徒たちの卒業が目の前に来ているのです。もしかしたら長かったなと感じる人もいるかもしれませんが、ゴールは目の前に来ています。

季節がひとつずつ終わり、新しい季節が巡るたびに、生徒たちもひとつずつではありますが、成長しているんだなあと気づかされます。最後までそれぞれのペースで、君たちらしさをもって頑張ってほしいと思います。

これからの主な行事

十二月

十三日(水)　人生の達人セミナー
十四日(木)　クリスマスケーキ作り教室
十五日(金)　終業式・不振者指導
十八日(月)　冬季休業～一月五日(金)
二十八日(木)　御用納め

一月

九日(火)　始業式
十一日(木)　四年考査時間割発表
十八日(木)　学年末考査(四年生)
～一月二十四日(水)まで